

訪れる際の注意点を 本書掲載入ポットを

常識とマナーを持って
訪問しましょう。

近隣住民の方に
迷惑をかけないようにしてください。

私有地や立入り禁止区域には
絶対に入らないでください。

行き方が分からない時は、
地元の人に聞いてみてください。

【このパンフレットに関するお問い合わせ先】
徳島県南部総合県民局 企画振興部(美波)
TEL.0884-74-7331 FAX.0884-74-7337
<http://www1.pref.tokushima.jp/nanbu/gosouth/>



だれも知らない 四国の右下



ツコウケンラ 龍崎の岩山 龍崎
龍崎 湧き水 龍崎大池 かりまた
龍崎 だるま朝日 伊島大温泉 明神山の巨石
龍崎 明神山の眺望 福井ダム ノース・アメリカン号遺跡
龍崎の碑 阿波沖海戦小公園 JR由岐駅 田井ノ浜 JR木岐駅
ラオケ城 俳句の小径 満石神社 和菓子屋十一屋 初音湯 あわえのあ
龍崎美術館 ウミガメ 理容いらい 法印さん 日和佐図書館・資料館 龍崎
ガ○ダム 薬王寺の大楠 薬王寺ゆき塔胎内巡り おそい車は左によってくれる
鬼ヶ岩 阿波サンライン モラスコむぎ 姫神祭り 内妻海岸 出羽島の南端
龍崎川河口 納浦の町並み 法華寺の彫刻 JR海部駅 穴喰海岸 カモメ橋
マキの門 化石連振 単なる階段 マグロの内臓料理 ししめし 母用と
瀬橋 環堤 鉄線橋 正観寺 こえこえ坂 ヤレヤレ時のドンパチ 龍崎本町
底痕群 クヌッセン機関長の碑 阿津神社 龍崎谷の神樹杉 tree spirit 美

旅人たちには普通じゃない

地元の人には普通でも

地元の人なら知っている

心くすぐる魅惑のスポット
載らないけれど

有名ガイドブックには載らないような

誰かにそつと自慢したいような

誰かにそつと自慢したいような

そんなお宝スポットをぎゅぎゅつと収集

収集エリアは四国の徳島県南部「四国の右下」

「だれも知らない四国の右下」

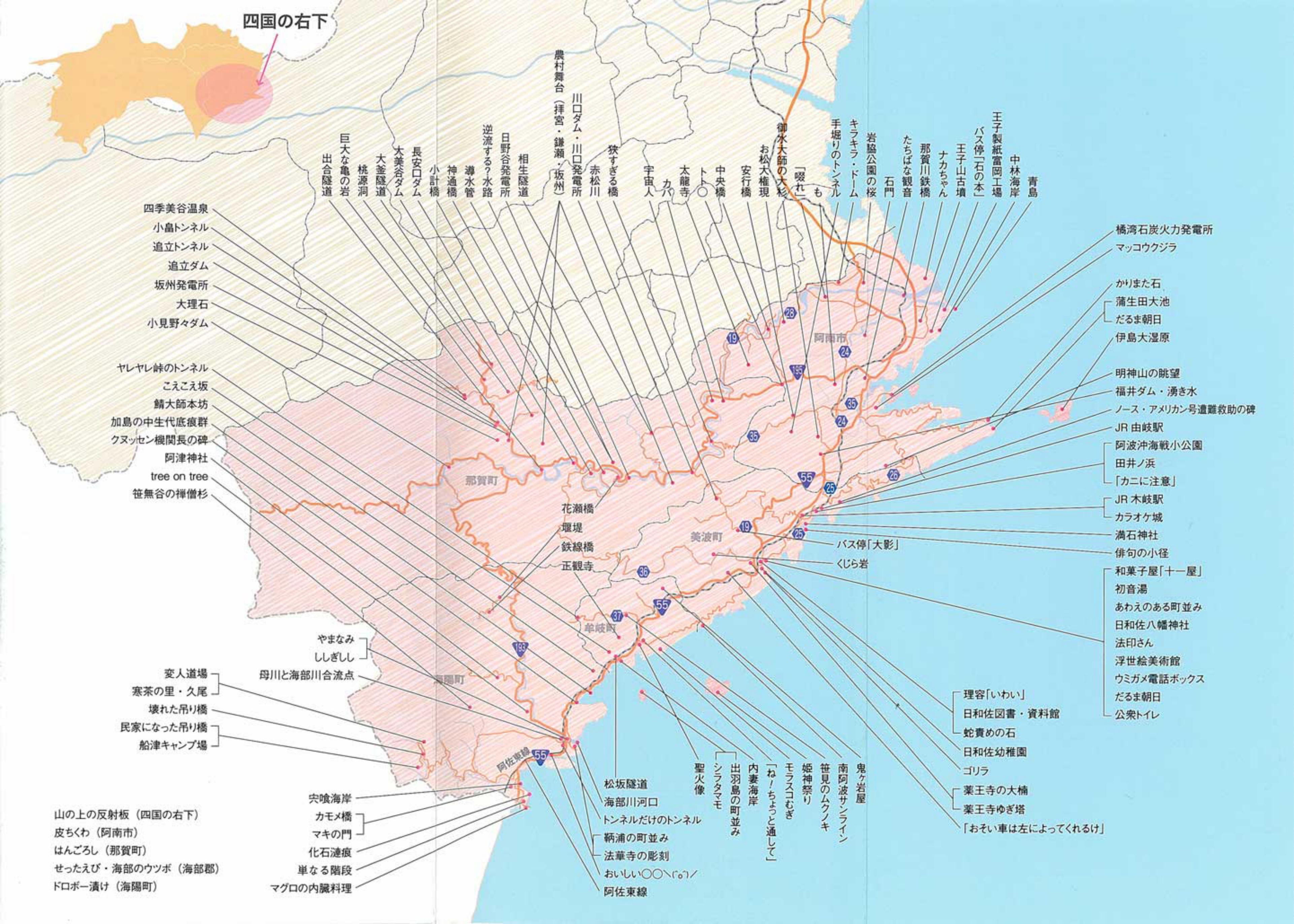
「だれも知らない四国の右下」

この一冊で少しだけ

四国の旅が変わるかも



四国の右下



四季美谷温泉
小島トンネル
追立トンネル
追立ダム
坂州発電所
大理石
小見野々ダム

ヤレヤレ峠のトンネル
こえこえ坂
鯖大師本坊
加島の中生代底痕群
クヌッセン機関長の碑
阿津神社
tree on tree
笹無谷の禅僧杉

変人道場
寒茶の里・久尾
壊れた吊り橋
民家になった吊り橋
船津キャンプ場

山の上の反射板（四国の右下）
皮ちくわ（阿南市）
はんごろし（那賀町）
せったえび・海部のウツボ（海部郡）
ドロボー漬け（海陽町）

尖喰海岸
カモメ橋
マキの門
化石漣痕
単なる階段
マグロの内臓料理

巨大な亀の岩
出合隧道

桃源洞

大釜隧道

長安口ダム

小計橋

神通橋

導水管

逆流する水路

日野谷発電所

相生隧道

川口ダム・川口発電所

農村舞台（拝宮・鎌瀬・坂州）

赤松川

狭すぎる橋

宇宙人

カハ

太龍寺

トト

中央橋

安行橋

お松大権現

御水大師の大杉

「囃れ」

手堀りのトンネル

キラキラ・ドーム

岩脇公園の桜

石門

たちばな観音

那賀川鉄橋

ナカちゃん

王子山古墳

バス停「石の本」

王子製紙富岡工場

中林海岸

青島

橋湾石炭火力発電所
マッコウクジラ

かりまた石
蒲生田大池
だるま朝日
伊島大湿原

明神山の眺望
福井ダム・湧き水
ノース・アメリカン号遭難救助の碑

JR 由岐駅
阿波沖海戦小公園
田井ノ浜
「カニに注意」

JR 木岐駅
カラオケ城
満石神社
俳句の小径

和菓子屋「十一屋」
初音湯
あわえのある町並み

日和佐八幡神社
法印さん
浮世絵美術館
ウミガメ電話ボックス

だるま朝日
公衆トイレ

理容「いわい」
日和佐図書・資料館
蛇責めの石

日和佐幼稚園
ゴリラ
薬王寺の大楠
薬王寺ゆぎ塔

「おそい車は左によってくれるけ」

バス停「大影」
くじら岩

花瀬橋
堰堤
鉄線橋
正観寺

牟岐町

松坂隧道
海部川河口
トンネルだけのトンネル
柄浦の町並み
法華寺の彫刻
おいしい○○○
阿佐東線

聖火像
シラタマモ
出羽島の町並み
内妻海岸
「ね！ちゃんと通して」
モラスコむぎ
姫神祭り
笹見のムクノキ
南阿波サンライン
鬼ヶ岩屋

だれも知らない

四国の右下

自然

建造物

文化・歴史

グルメ

ハンジヤンル



自然



サルやシカに会えるかも 南阿波サンライン

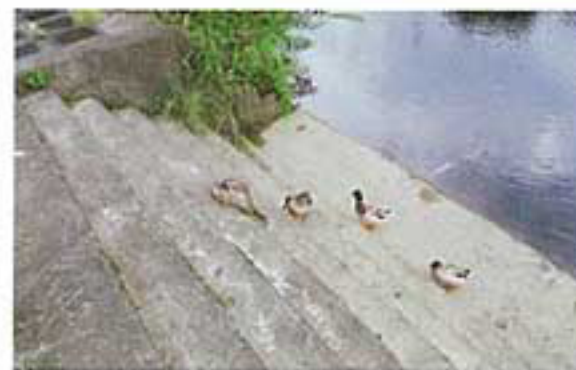
美波町・牟岐町

昭和49年開通した観光道路。近年、官民一体となった再生プロジェクトが始まり、かつての景観を取り戻しつつある。ドライブには最高。



ムササビに会えるかも 日和佐 八幡神社

美波町日和佐浦
拝殿には、亀の飾り彫りがある。参道から境内に続く巨木の森「宮の森」にはムササビがすんでいる。



カモに会えるかも 母川と海部川合流点

海陽町奥浦

地元住民が野生のカモを餌付けしている場所。パンを持って行くとカモが集まってくる。



世界で4ヶ所 シラタマモ

牟岐町出羽島

約1億4千万年前に繁殖したシャジクモ科の藻類。生きた古代の化石。自生地は出羽島を含めて世界で4ヶ所のみ。



ヒビ猿伝説 鬼ヶ岩屋

牟岐町大字橋

昔、鬼ヶ岩屋に住んでいたヒビ猿の伝説がある。洞窟内には世界でここにしかない牟岐の名がつく「ムギホラヒメグモ」が生息している。



巨石の下にある バス停「石の本」

阿南市中林町
地元では「石栗山」と親しまれていた。現在はバス停留所である。



木から木が? tree on tree

海陽町富田

朽ちた杉の太木の幹から生えたヤマモモの木。なんともユーモラスな立ち姿。



四国の右下版「鬼の洗濯板」!? 加島の中生代底痕群

海陽町浅川

中生代白亜紀(約7000万年前)の古水流及び生物の生態を示す底痕。



神秘の洞窟 桃源洞

那賀町高野

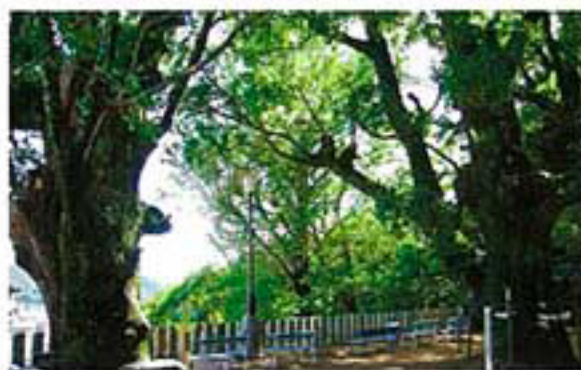
県下最大と言われる鍾乳洞。ここに行く方法は、四季美谷温泉の地下足袋王子に聞いてみよう。



立ち姿が美しい 笹見のムクノキ

牟岐町大字河内

樹齢約100年、高さ20m。この木は2代目で傘下に二つの小祠があり、ひとつは地神さん、もうひとつは棕の木の霊をまつっている。



埋もれた大樹 薬王寺の大楠

美波町奥河内

一説によれば、絵馬堂から生えていた楠を埋め立てて、本堂前の石垣を築いたらしい。木の高さは25mだが、埋もれた部分を含めば40mになるとも言われている。樹齢500年。



波の化石 化石漣痕

海陽町穴喰浦

約三千万～四千万年前に海底にできた波の模様が土砂の堆積によってできたもの。徳島県立博物館のレプリカと比較してみよう。



紀伊水道に浮かぶ 桃源郷

伊島大湿原

阿南市伊島町

かつて水田が拓かれていたところで希少昆虫の生息が確認されている。環境省の「日本の重要湿地500」に選定されている。



四国最東端の岬の池

蒲生田大池

阿南市椿町

蒲生田岬の先端にある。面積7,000㎡の大池周辺に広がる亜熱帯性の湿原植物群落は独特の雰囲気。



ロッククライミングもできる

石門

阿南市長生町

カラト峠を下りて左手に門のように並立している岩山。口の石門と呼ばれる。生い茂る緑と断崖の織り成す風景。



立ち姿が禅僧

笹無谷の禅僧杉

海陽町相川

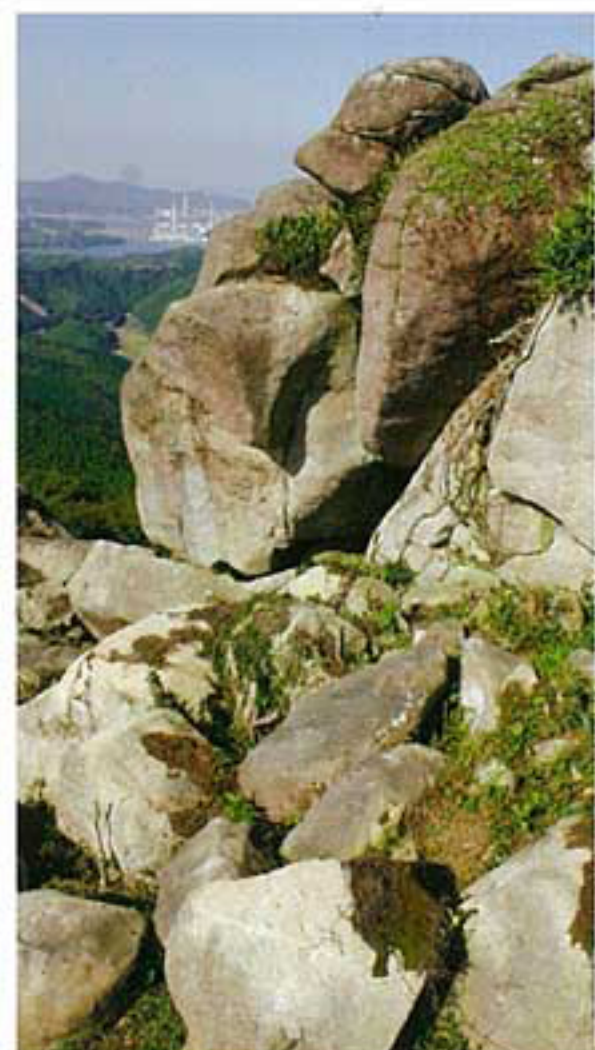
禅僧杉は、海陽町の禅僧山一帯に生えている天然杉の総称。なかには樹齢千年以上のものもあり。山では火気厳禁。



火打ち石の 採石跡 かりまた石

阿南市椿泊町

椿泊東端は燧崎(ひうちざき)と呼ばれ火打ち石採石跡が残る。切り立った崖は狩股の矢に似ているので「かりまた石」と呼ばれる。



360度絶景スポット

明神山の眺望

阿南市椿町

空気の澄んだ季節には、北は鳴門大橋、西は剣山山系の大峰山、南は室戸岬が一望できる。



こっちに歩いてきそうな
巨大な亀の岩 那賀町沢谷
那賀町の山奥で発見した亀は大きかった。生息地は大釜の滝上流。



別名「逆杉」
御水大師の大杉 阿南市新野町
高さ約31m・幹回り約6.6m・伝承樹齢約1,000年の大杉。すべての枝が一度下を向いて上に伸び、別名「逆杉(さかさすぎ)」という。



月の名所
中林海岸 阿南市中林町
地元で一番人気の月の名所。月光、海、島影、雲のマッチングが幻想的。



ひよっこりひょうたん島
青島 阿南市吟町
ひよっこりひょうたん島のモデルとされている。真相やいかに!?



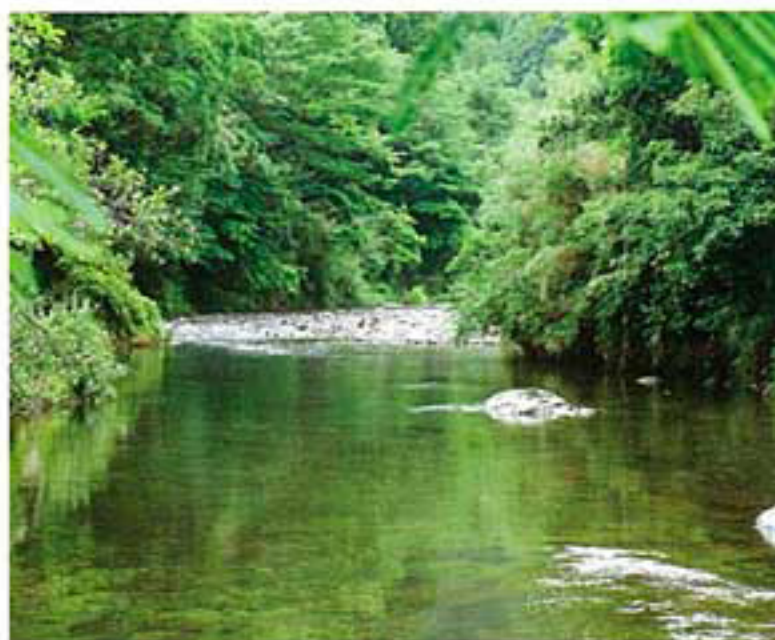
阿南市・蒲生田岬

だるま朝日

だるま朝日に遭遇できるのは、冷たく空気の澄んだ冬の朝。



美波町・大浜海岸



山に向かって流れる川!?
赤松川 美波町赤松
美波町の中心部から赤松地域に向かうと山を登っていくために、川の流れが山に向かっていくような錯覚を起こす。赤松の集落の美しさも必見。



月の名所
田井ノ浜 美波町田井ノ浜
春から秋にかけての満月の時期にはかぐや姫が月に帰るような美しい風景が見られる。



湧き水
阿南市福井町
弥谷観音昇り口横に湧出している清水。向かいの東屋でしばしの休憩も心地いい。



海部川から見える
やまなみ 海陽町奥浦
国道55号新海部川橋から見ると、山並みが美しいグラデーションになっている。ただし、脇見運転は厳禁。



国会議事堂で使われている
大理石 那賀町坂州
知る人ぞ知るこの事実。国会議事堂には、那賀町の山奥で切り出された大理石が使われている。



子どもたちの夏の遊び場
くじら岩 美波町西河内
清流日和佐川を上流に行くと出くわす巨石。

建造物

山はどこへ？ トンネルだけのトンネル

海陽町奥浦

トンネルがあるのに山がない。トンネルを掘った後、山が雨で流れてトンネルだけになってしまったらしい。



改札でたら水族館

JR由岐駅

美波町西の地

駅舎に併設されているぽっぽマリン。ふれあい水槽にいる魚たちにえさをあげることもできる。



こんなところに
カラオケ城

美波町木岐

雑誌やテレビでも取り上げられたお城型個人住宅。カラオケの道場としても活躍。個人のお宅なのでのぞき見は厳禁。



哀愁漂う無人駅

JR木岐駅

美波町木岐

牧歌的な雰囲気も味わえる。



すごい
マキの門

海陽町穴喰浦

海陽町の正法寺にある、樹齢400年といわれる見事なマキの木の門。境内には無断で入らないこと。



異次元への階段か？

単なる階段

海陽町穴喰浦

階段があるのにその先には何もない。



目の錯覚？

逆流する？水路

那賀町音谷

水が下から上に流れているように見える水路。まるでエッシャーのだまし絵の世界。

小見野々ダム

那賀町木頭助



黒部第四ダム（通称黒四ダム）と同じアーチ型ダム。四国では小見野々ダムと大美谷ダムの2カ所だけ。

〔型 式〕コンクリートアーチダム
〔堤 高〕62.50m
〔堤頂長〕151.78m



大美谷ダム

那賀町木頭名

〔型 式〕コンクリートアーチダム
〔堤 高〕31.5m
〔堤頂長〕85.992m



長安口ダム

那賀町長安

〔型 式〕重力式コンクリートダム
〔堤 高〕85.5m
〔堤頂長〕200m



福井ダム

阿南市福井町

〔型 式〕重力式コンクリートダム
〔堤 高〕42.5m
〔堤頂長〕191m



堰堤

海陽町平井

魚が通るための道をつくっている砂防ダム。



川口ダム

那賀町吉野

〔型 式〕重力式コンクリートダム
〔堤 高〕30.0m 〔堤頂長〕182.5m



追立ダム

那賀町坂州

〔型 式〕重力式コンクリートダム
〔堤 高〕29.5m 〔堤頂長〕79.2m



日和佐幼稚園

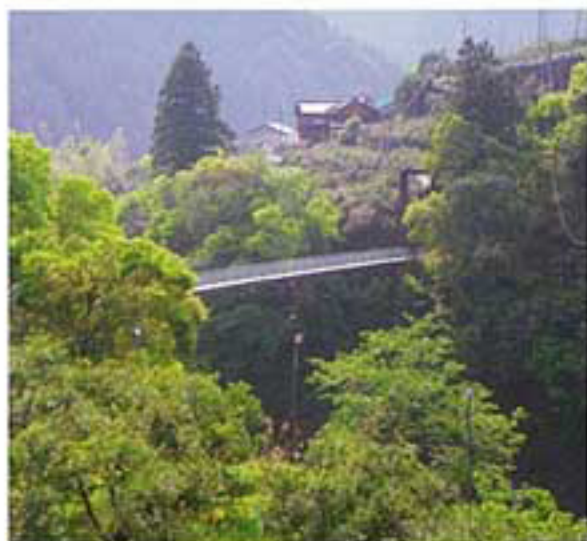
美波町奥河内

やけにとんがった壁面の形が目を引く幼稚園。
〔型 式〕ガ〇ダム

鉄線橋

海陽町

海部川にはたくさんの鉄線橋がかかっている。
鉄線橋めぐりをしてみるのもオツ。
腐食が進んでいる橋も多いので、見るだけにしておこう。



こばかり
小計橋 那賀町小計



じんづ
神通橋 那賀町花瀬



狭すぎる橋 那賀町築ノ上



やすゆき
安行橋 阿南市新野町
木の橋げたのつり橋。



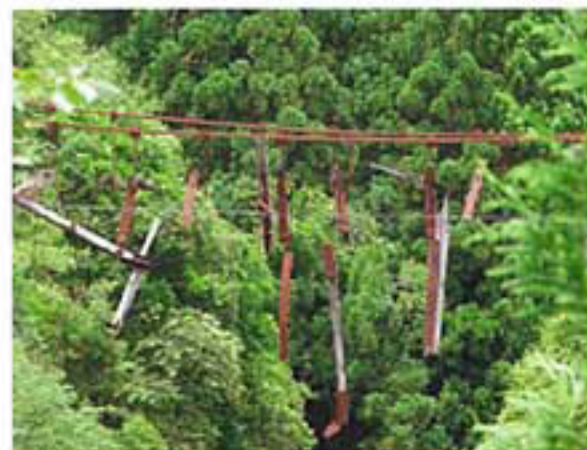
はなぜ
花瀬橋 那賀町花瀬



なかがわ
那賀川鉄橋 阿南市(住吉町~那賀川町)
昭和20年7月30日那賀川鉄橋で列車が爆撃された。平和の碑が建立されている。



カモメ橋 海陽町穴喰浦
見たまんまカモメ橋。遊び心満点の公共建築物。



壊れた吊り橋 海陽町畠口
潔い壊れ方がインパクト大。



民家になった吊り橋 海陽町船津
主塔だけ残された吊り橋。そこにあつたはずの取り合い道路の上に民家が。



ひのたに
日野谷発電所 那賀町日浦
長安口ダムから音谷の導水管を通ってきた水を発電に利用。【発電方式】ダム水路式【最大出力】61,000kw



橘湾石炭火力発電所 阿南市橘町
風光明媚な橘湾。その小勝島に姿を現す西日本最大級の石炭火力発電所。【出力】280万kw(1号機:210万kw、2号機:70万kw)意外とファンタジックな夜景も見る価値あり。



さかしゅう
坂州発電所 那賀町坂州
追立ダムから導水。レトロな雰囲気が漂う。【発電方式】流込水路式【最大出力】2,400kw



川口発電所 那賀町吉野
【発電方式】ダム式【最大出力】11,700kw

中央橋

阿南市
(加茂町一深瀬町)
5月は鯉のぼり
がいっぱい。



こえこえ坂 牟岐町内妻

安政元年(1854)の津波で内妻村は13件が流された。この時潮が公民館の側の坂をさかのぼってきたと言われている。



手掘りのトンネル 阿南市新野町元信

山の中腹に空いた大きな窓。トンネルを歩くと湿気を少し含んだ冷たい風を感じながら、自由な形の岩肌が強烈に映る。



まつざかいずいどう 松坂隧道 牟岐町内妻

大正10年に完成した日本最古のコンクリート製トンネル。当時は未知の素材であったコンクリートが用いられ、当時の技術者の進取の気質を今に伝える。



あいおいずいどう 相生隧道

那賀町相名

ただでさえ少し気持ちの悪いトンネルの上部には、昔作られた手彫りの隧道が存在する。その昔、住民の出役で作られたそう。

入口付近



であいずいどう 出合隧道 那賀町日真

壁面、薄暗いトンネル内部を仄かに照らすオレンジ色の照明、入口からは見えない出口、不気味な雰囲気たっぷりのトンネル。



おおがみずいどう 大釜隧道 那賀町沢谷

素掘りトンネルの醍醐味を味わうことのできるトンネル。トンネルを抜けると大釜の滝の絶景と出会える。



ヤレヤレ峠のトンネル 牟岐町大字河内

トンネル入口には「ひこじいのトンネル」の小さな碑がある。「ヤレヤレ」という名前の由来はもちろん、「ひこじい」が一体なんなのか。気になる。



山の上の反射板 四国の右下

通信などに使用する電波を反射するために設置されている装置。気になっている人も多いのでは。



導水管

那賀町音谷

長安口ダムの水を日野谷発電所へ流す導水管。森の中に突如現れる巨大な建造物は異様な雰囲気。



ともうら 納浦の町並み 海陽町納浦

「ほそや」と呼ばれる通路や雨戸と縁側を兼ねた「ミセ造り」。古くからの漁師町の風情がそのまま残る町並み。



あわえのある町並み

美波町日和佐浦

「あわえ」と呼ばれる細い路地が張りめぐらされている。



てばじま 出羽島の町並み 牟岐町

玄関の横にミセ造りと格子窓が設けられている。「ミセ」は上ミセは持ち上げて引掛木で固定、下ミセは縁台になる。



変人道場

海陽町久尾

柔道場として建てられた「変人道場」。壁面いっぱいに書かれた、野根川哀歌や久尾四季小唄が風情あり。個人のお宅なのでのぞき見・無断立入禁止。



幕末から続く

和菓子屋「十一屋」

美波町日和佐浦
ガラスケースに入ったお菓子が昔なつかしい。



世間遺産

初音湯

美波町日和佐浦
大正期の銭湯の雰囲気味わえる。ロッカーをひとつずつ開けてみると…



「モラスコ」はスペイン語 モラスコむぎ

牟岐町大字瀬

目の前には「松ヶ磯」の美しいビーチが広がる。県産材をふんだんに使用し、貝をモチーフに設計された建築美にも注目。



拝宮農村舞台



鎌瀬農村舞台



農村舞台

那賀町

神社の境内に建てられた人形芝居の農村舞台が那賀町には日本一多く残っている。鎮守の森の中に佇む景観や神聖な空気感を堪能できる。

坂州農村舞台



カラフルな駅名票やイベント列車が楽しめる。総延長8.5kmの間に駅は海部・穴喰・甲浦の3つだけ。



驚異の精緻さと美しさ

法華寺の彫刻

海陽町鞆浦

江戸時代初期に活躍したと言われる伝説の彫刻職人・左甚五郎の作とされる彫り物がある。



太龍寺 (山岳修行、南舎心嶽)

阿南市加茂町

海拔600mの太龍寺山の山頂近くがあり「西の高野」と呼ばれる。真言宗準別格本山の格式をもつ名高い寺。



王子製紙富岡工場

阿南市豊益町

迫力ある姿でそびえ立つバイオマスボイラー。見かけに似合わず、エコロジカルなプラント。美しい砂浜との対比が見どころ。



たちばな観音

阿南市橘町

大谷山の頂に海上保安と市民の幸福・繁栄を願って建立された高さ6.28mの白衣観音像。展望地からは橘湾のパノラマ風景が。

文化・歴史



日本三大怪猫伝 お松大権現 阿南市加茂町

巨大な招き猫が笑顔で出迎えてくれる。境内に並べられた約1万体の招き猫は圧巻。地元では「猫神さん」と親しまれ、勝負や願い事の神様として知られる。



江戸末期の ヒーロー伝説 ほう いん 法印さん

美波町奥河内

法印堂の中には江戸末期に日和佐に生まれた法印さんこと「栄寿法印」の、数々の奇跡を紹介した楽しい物語絵巻が飾られている。



俳句の小径

美波町木岐

四国のみち木岐白浜から山座までの廻路道に地元の人たちが公募した俳句の句碑を建てている。



昭和レトロ 理容「いわい」

美波町奥河内

エメラルドグリーンの外観とサインポールが絶妙のバランス。中に入ると、昔懐かしの床屋の雰囲気。



大正レトロ 日和佐図書・資料館

美波町奥河内

1階はごく普通の図書館。2階に上がるとそこは別世界。大正時代の家族の風景が再現されている。



日本一の美人の神様

阿津神社

海陽町相川

悲しい阿津姫伝説の残る神社。決して大きくないが、ここをお参りすると美人の子が生まれると言われている。



おうじやま 王子山古墳

阿南市日開野町

標高36mの独立した小高い丘。ここに6世紀から7世紀にかけての3基の古墳が眠る。



別名「日和佐の秘宝館」 浮世絵美術館

美波町日和佐浦

看板に書かれた電話番号に連絡すれば、館長の岩井白石画伯が駆けつけてくれる。館長の案内による浮世絵鑑賞が楽しい。



自然の造形の妙 姫神祭り

牟岐町

大島港の奥深く鎮座する奇岩「姫神」は土佐の豪族のお姫様の悲恋伝説があり、それにちなんだ夏祭りが毎年開催される。



こんなところに大砲が 阿波沖海戦小公園

美波町
西由岐

慶応4年(1868年)幕府の軍艦開陽丸と薩摩藩の軍艦春日丸との日本初の近代軍艦による近代的海戦を展開し、薩摩藩の輸送船翔鳳丸が、ぬの島近くに沈んだ。



海の勇者 クッセン機関長の碑

海陽町
浅川

海に転落した日本人を救おうとして亡くなったデンマーク人、ヨハネス・クッセン機関長の顕彰碑。今も地元の人から愛されている。



別名「イボ神様」 満石神社

美波町木岐

イボ取り・病気快癒の霊水として信仰を集めている。すぐそばに木岐出身の書家小坂奇石の碑があり、眺めもよし。



日和佐の怪遺産 蛇責めの石

美波町奥河内

蛇だけにかなりヘビーなお仕置きに使用された石。石の横に設置された由来を読んでみて。



米大統領から銀メダル ノース・アメリカン号 遭難救助の碑

美波町志和岐

明治25年7月23日ノース・アメリカン号が荒天で志和岐の海岸に難破。地元住民は決死の覚悟で乗員22名を救助した。



グルメ



皮ちくわ

阿南市

はもの皮を竹に巻き付けて焼いたもの。酒の肴にぴったりの逸品。



マグロの内臓料理

海陽町

徳島県最南端、マグロ基地のある竹ヶ島では、マグロの胃袋の煮付けや天ぷらが食べられる。独特の食感。



海のウツボ

海部郡

カタチはグロテスクだが、コラーゲンたっぷり美味。ウツボの珍味もあり。



ドロボー漬け

海陽町

ご飯がすすむ「飯どろぼう」なかぶらの漬け物。ヌカのついたまま、あつためて食べるのが流儀。



せったえび

海部郡

形が雪駄に似ていることから、県南ではゾウリエビ等を「セッタエビ」と呼ぶ。小型ながら味は濃厚で美味しい。



はんごろし

那賀町

もち米にうるち米を混ぜ、半分だけ潰してつくったおはぎの昔からの呼び名。



しょう かん じ 正観寺・八大地獄 牟岐町大字中村

ここに来れば地獄の世界が体験できる。薄暗い館内には、気味が悪いBGMが流れ、血を流す人形がカタカタ動く。延々に続くかと思わせるような地獄の世界が終わると、案外あっさりした極楽の世界が待っている。



く お 寒茶の里・久尾

海陽町久尾

昔ながらの山村。野根川と棚田が美しい。寒に摘むお茶、寒茶の生産地。



さば たい し ほん ほう 鯖大師本坊 海陽町浅川

四国別格霊場第4番札所である鯖大師本坊。四国八十八ヶ所と別格二十ヶ所のお砂踏み道場、ご本尊、護摩堂内不動明王をLED照明で演出している。

薬王寺ゆぎ塔

美波町奥河内



寺のシンボルとして親しまれている瑠祇塔は全国一で、小野小町の盛衰を描いた「九想図巻考証」など、国宝級の宝物が展示されている。



サーフスポット

四国の右下は、サーファーのメッカ。世界的に有名なハードな波、初心者にやさしいメローな波。波と戯れるサーファーを眺めてみては。



船津キャンプ場 海陽町船津

2本の川に挟まれ、高い木々がそびえる。心も体も癒してくれる場所。



岩脇公園の桜 阿南市羽ノ浦町

約400m続く桜のトンネルは「桜の馬場」と呼ばれる。ライトアップされた夜桜も美しい。



も 阿南市桑野町
深い名前の食堂。



ししぎしし 海陽町奥浦
左から読んでも右から読んでもの食堂。



マッコウクジラ 阿南市福井町
Jパワー&よんでんWanダーランドにある日本最大級(体長16.5m)の骨格標本。



カバ 那賀町和食



トト 那賀町中山



ゴリラ 美波町日和佐浦



「おそい車は左によってくれるけ」
美波町山河内



ナカちゃん 阿南市那賀川町
道の駅「公方の郷なかがわ」にあるアゴヒゲアザラシ「ナカちゃん」(H17.11~H18.8那賀川に出没)のオブジェ。



宇宙人 那賀町小仁宇



ウミガメ電話ボックス
美波町日和佐浦



公衆トイレ 美波町日和佐浦



おいしい
〇〇＼(^o^)/
海陽町那佐



やたら大きいローマ字表記
おったち
追立トンネル 那賀町坂州



心優しい看板① 牟岐町大字川長
「ね! ちょっと通して」



「吸れ」 阿南市中大野町



誰が使うの?
バス停「大影」 美波町北河内
なぜこんなところにバス停が。自分の目で確かめて。



心優しい看板②
「カニに注意」
美波町由岐



入口と出口で
違うデザイン
お ば け
小島トンネル 那賀町小島
地元の小・中学生作。



LEDの殿堂
キラキラ・ドーム 阿南市富岡町



肉まんみたいな温泉マーク
四季美谷温泉
那賀町横谷



なぜここに!?
聖火像 牟岐町大字中村

編集後記

「旅」は人間の根源的欲求だといわれています。なぜ人は「旅」を求めらるんでしょう。人は、物事に「飽きる」動物です。日常に「飽き始めた」時に、ハッとする瞬間、ホッとする瞬間を求めて旅に出るのかもしれませんがね。これを手にとってくれた皆さん。「四国の右下」で、ハッとして、ホッとしてください。
(編集部員A)

自分は生まれも育ちもディープな県南。結構マニアックなところまで知っているつもりでしたが、今回の編集作業で初めての知見も結構ありました。県南とひとくくりにされることが多いけれど、景色も文化もほんとに多様です。あの山の尾根、あの川を越えるとあなたの知らないワンダーランドかもしれません。
(編集部員B)

この一冊を手にしていただきありがとうございます。不思議と四国の右下がなんか気になるエリアになりませんでしたか?そんなときは迷わず、四国の右下へGoですよ!どうか皆様にとって良い旅となりますように。
(編集部員C)

本書にはあえて詳しい地図は載せませんでした。お目当てのスポットに辿り着く一つの方法は、心をオープンにして、そこで出会った人達に話しかけてみることです。旅とは人との出会いです。本書をきっかけに、「四国の右下」で心に残る旅をしていただけると嬉しいです。(ま)

「だれも知らない四国の右下」作成にあたりまして、多くの方々のお世話になりました。関わっていただいた皆様方、本当にありがとうございました。
(編集部一同)

旅に疲れたら

こんな場所でひと休みはいかが。

ブランコに乗って

自由に揺られる。

ハンモックをぶら下げて

寝っ転がる。

全てから解き放たれ

自然と一体になる

デラックスなひととき。

だれも知らない四国の右下

発行元
問合せ

南阿波観光振興協議会
徳島県南部総合振興局 企画振興部(美波)
TEL.0884-74-7331 FAX.0884-74-7337
<http://www1.pref.tokushima.jp/nanbu/gosouth/>